

● 3月31日をもって芦別温泉が休止となります ●

平成4年3月にオープンした日帰り温泉施設「芦別温泉」は、築後27年を経過し、まもなく大規模改修が必要な時期を迎えることから、昨年12月にリニューアルオープンした「おふろcafé星遊館」に機能を集約することとし、3月31日をもって休止することになりました。

これに伴い、市民の皆さんに今後も温泉をご愛用いただきたく、「おふろcafé星遊館」の市民限定回数券と、70歳以上の方及び70歳未満で障害等級が1級から4級の身体障がい者の方に無料交付している芦別温泉等利用券の取り扱いについてご案内します。

■「おふろcafé星遊館」市民限定回数券について

(芦別市民とわかる身分証明書をご持参ください)

	利用時間	区分	入館料
大人	90分コース	通常	平日 815円
			土日祝 925円
	フリータイムコース ※バスタオル・フェイスタオル付き	回数券 (10枚綴り)	全日 6,000円 (1回あたり600円)
			通常
		回数券 (10枚綴り)	全日 10,350円 (1回あたり1,035円)

注：大人は中学生以上、小学生以下は回数券を利用できません。入館料は消費税及び入湯税が含まれます。

●詳細／観光振興係



■芦別温泉等利用券について

70歳以上の方・70歳未満で障害等級が1級から4級の身体障がい者の方
温泉利用券+150円をご負担いただくことで90分コースの利用が可能です。
※現在交付している温泉利用券は6月30日まで使用できます。

●詳細／高齢者支援係

★市長だより★ 33

今年の冬は、温暖化の影響等もあって記録的な小雪状態が続き、市民皆様には例年よりは除雪作業の労力が軽減され安堵されたのだと思います。一方、本市の基幹産業である農業では、越冬作物や融雪水の不足により水稲や花き栽培などへの影響も懸念され、農業者の皆様はじめ関係機関・団体としっかり連携して、市として必要な対応、対策等を講じてまいります。

また、新型コロナウイルスの世界的感染拡大が続いており、ピーク時の見通しも不透明な中、日本国内そして道内においても症例が相次いでおります。過度な心配や不安は不要ですが、こまめな手荒らいやうがい、不要不急な外出を避け、人込みではマスクの着用を励行するなど感染予防に留意いただきたいと思います。
2月4日から14日にかけて市内11か所において「まちづくり懇談会」を開催し、「市役所庁舎の整備」や、「市立芦別病院の今後のあり方」に関することをメインテーマに、道立北の森づくり専門学院の開校や新型コロナウイルスの対策などについても、ご参加いただいた市民の皆様と率直な意見交換を行い、貴重なご提言等をいただきました。また、市庁舎の整備に関し、市民検討委員会や市民アンケートによるご意見等もお寄せいただいております。市庁舎及び市立病院のあり方に

関しては、将来に及ぶ重要な課題でありますので、今後とも、市民の皆様への丁寧な説明を含め、「どうあるべきか」を、市議会の皆様ともしっかり議論してまいりたいと考えております。

3月は新年度予算を審議する定例市議会が開かれます。令和2年度は、今後10年の新たなまちづくりの指針となる「第6次総合計画」の初年度として、目指す都市像「みんなで築く、豊かで住みよい、人と文化の輝くまち」の実現に向け、本年度がその一歩となるよう、各種施策の推進とともに、私も任期最期の年度となりますことから、総仕上げの予算として位置づけながら、予算編成に意を用いました。

人口減少社会と地域経済の縮小の波にいかに対峙していくかが、喫緊の課題であります。将来にわたって、責任ある行政サービスと持続可能な行政運営のため、引き続き行財政改革に取り組みながら、「改革と成長」をキーワードに、「縮充と連携」の視点をもって、本市に、「住み、働き、学び、訪れる」方々が、活躍の場と生きがいや幸せを実感できるよう、力を尽くしてまいりたいと考えております。

季節の変わり目からも市民の皆様には、体調管理等一層ご自愛ください。

芦別市長 荻原 貢

